

質 問 回 答

平成 26 年 3 月 7 日

「トーゴ国カラ・クモング 2 橋梁建設計画準備調査」

（公示日：平成 26 年 2 月 12 日）について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番 号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書別紙 【第 2 業務の目的・内容に関する事項】 P5 6. 業務の内容 (7) 環境社会配慮	環境社会配慮調査に関して、現地再委託も可能という記載がないが（社会状況調査では提案事項として現地再委託も可と記載されている）、現地再委託を提案事項とすることは可能か？	社会状況調査同様、必要に応じ現地再委託も可としますが、本見積にてご提案ください。
2	業務指示書別紙 【第 2 業務の目的・内容に関する事項】 P9 7. 成果品等	(2) インセプションレポートは仏文のみとなっているが、和文の提出は必要ないのか？ (6) 機材仕様書：施設案件であり、機材仕様書が入っているのは不可解？間違いではないか。(4) の準備調査報告書（案）も同様。	(2) インセプションレポートについて和文 10 部の提出をお願いいたします。 (6) 機材仕様書について施設案件のため、機材仕様書は必要ありません。記載に不備があり、失礼致しました。
3	業務指示書別紙 【第 3 業務実施上の条件】 P12 4. JICA からの参加団員の構成と現地調査工程（案）	コンサル側の要員（例えば業務主任）が、JICA 側参加団員に同行して、JICA コートジボワール事務所、在コートジボワール日本大使館に業務内容、調査結果の説明のためにアビジャンに行く必要がないのか？行く必要がある場合、ロメ～アビジャンの往復航空運賃を計上することが可能か？	各回の現地調査後、基本的に業務主任のみ JICA 側参加団員にご同行をお願いします。JICA コートジボワール事務所および在コートジボワール日本大使館への訪問を予定しているため、計 2 回のロメ～アビジャンの往復航空運賃を積算願います。

以上